

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2002-39979 (P2002-39979A)  
 【公開日】平成 14 年 2 月 6 日 (2002.2.6)  
 【出願番号】特願 2000-218965 (P2000-218965)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 27/02

E 0 4 G 21/12

G 0 1 N 22/00

【F I】

G 0 1 N 27/02 Z

E 0 4 G 21/12 1 0 4 D

G 0 1 N 22/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 22 日 (2004.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P C 鋼材のグラウト充填時における気泡検出装置であって、  
グラウト注入用ホースに接続する検出用継ぎ手と、  
グラウトに高周波を印加するためのオシレータと、  
 前記オシレータからの高周波を受信するためにグラウトに近接して設けられた検出用電極と、  
 前記検出用電極で受信された高周波の強度変化を検出する検出部と  
 を備え、  
前記検出用継ぎ手内に、前記オシレータからの高周波をグラウトに印加するための前記  
励振用電極と、前記検出用電極とをグラウトを挟んで対面する構成で設けたことを特徴と  
する気泡検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の気泡検出装置において、  
 前記検出用継ぎ手内に設けられた前記検出用電極は、少なくとも 2 つ設けられているこ  
 とを特徴とする気泡検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の気泡検出装置において、前記検出用継ぎ手内に、島部を設けたこ  
 とを特徴とする気泡検出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、P C 鋼材のグラウト充填時における気泡検出装

置であって、グラウト注入用ホースに接続する検出用継ぎ手と、グラウトに高周波を印加するためのオシレータと、前記オシレータからの高周波を受信するためにグラウトに近接して設けられた検出用電極と、前記検出用電極で受信された高周波の強度変化を検出する検出部とを備え、前記検出用継ぎ手内に、前記オシレータからの高周波をグラウトに印加するための前記励振用電極と、前記検出用電極とをグラウトを挟んで対面する構成で設けたことを特徴とする。

この構成により、充填するグラウト内に気泡が含まれていることを検出することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記検出用継ぎ手内に設けられた前記検出用電極は、少なくとも2つ設けることもでき、これにより、グラウト中の気泡の移動速度を測ることができ、気泡の位置の推測を行うことが可能となる。

前記検出用継ぎ手内に、島部を設けることにより、大口径のホースを用いてグラウトを充填する場合でも、確実に気泡を検出することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】